

目次

| | | |
|---|------------------|-----|
| シュテファン・ヘラーのピアノ曲〈花と果実と茨の画〉作品82 ——ロマン派ピアノ音楽の一側面—— | 谷村 晃 | 4 |
| 図形におけるバランスの実験的研究 | 深田 尚彦 | 23 |
| 狩野探幽と河内国 | 田中 敏雄 | 31 |
| ウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ運動 | 藪 亨 | 42 |
| 「ザ・ステューディオ」誌におけるジェシー・M. キングの作品 | 水島ヒロミ | 52 |
| 詩的ユートピアの研究——ウィリアム・モリス——「愛のゆくへ」その(一) | 斎藤 公江 | 62 |
| 奈良の古式神饌〈誌上作品発表〉 | 井上 博道 | 73 |
| メタファーと認知 | 兼沢 純子 | 85 |
| デザイン環境と社会環境の接点に ——団体活動を通じたデザイナーの社会的意識の推移—— | 西尾 直 | 92 |
| LPカバーにみるサイケデリック——グラフィックデザイン・モデルノロジー—— | 池田ただし | 102 |
| 『暖簾』その意と匠 | 北端 信彦 | 112 |
| インタラクティブメディアにおけるアプリケーションソフトの制作について | 太田 明仁 | 127 |
| 写真教育について | 田中 仁・南村 康弘 | 138 |
| 重度脳性痲痺患者の音楽運動療法——トランポリン使用の音楽療法の神経学的 考察による治療理論とその実践方法について—— | 野田 燎 | 146 |
| 芸術計画学科における情報教育について | 芹澤 秀近 | 162 |
| 建築基礎デザイン教育に関する研究——実験的授業(建築計画設計演習・建築 デザインシミュレーション演習)を通して—— | 樋口 文彦 | 170 |
| デザイン教育とコンピュータ——テキスタイルデザインの視点から—— | 梅田 幸男 | 184 |
| 大正・昭和期における軟式野球発達過程について | 田中亮太郎 | 197 |
| 春花秋草図——ソプラノ・サクソフォーンとピアノのための(第1楽章)—— 〈誌上作品発表〉 | 千秋 次郎 | 205 |
| A. ツェムリンスキーのメテルランク歌曲集 op13 について | 木原 俊哉 | 210 |
| 撥音／ん／の歌唱時における周波数下降を決める要因について | 渡辺 守・山田 真司・中山 一郎 | 223 |
| 樂家録と現行雅楽——特に箏箏の奏法をめぐって——(1) | 廣瀬 信夫・馬淵卯三郎 | 229 |
| 私はモルモットII——学生による授業評価'93. 実施報告 | 鳥居 元宏 | 241 |
| 映画『無法松の一生』再生(Ⅰ)——映画検閲とその再現検証—— | 太田 米男 | 248 |
| バルザック、わが旅(一) | 丸野 民也 | 261 |
| コロバス市花博・日本出展庭園におけるコラボレーションの記録 ——アメリカ合衆国オハイオ州—— | 大塚 守康・壺井 勘也 | 274 |
| 資料紹介「ファンメルのピアノ教則本」——装飾法を中心として—— | 前川 陽郁 | 281 |
| Spelling Spells | 松沢 絵里 | 289 |

表紙：木洩日-I H29・W23(cm) 花崗岩 赤 1991

裏表紙：雲と雨 H20・W50(cm) 花崗岩 赤 1984/○△□ H50・W20(cm) 花崗岩 紫 1990/おに
ぎり山-I H27・W40(cm) 花崗岩 赤 1991/○△□ H1,100・W35(cm) 花崗岩 黒
1991/木洩日-III H55・W35(cm) 花崗岩 黒 1991

表紙作品+撮影：田中 昇/レイアウト：田村 昭彦

CONTENTS

| | |
|--|-----|
| Stephen Hellers' "Blumen —Frucht— und Dornenstücke" Op. 82 - —An aspect of piano music in the romantic school— ···Ko Tanimura···· | 4 |
| An Experimental Study on Balance in Geometrical Figures ·····Naohiko Fukada····· | 23 |
| Kano Tanyu and in relation to Kawachi ·····Toshio Tanaka····· | 31 |
| William Morris and the Arts and Crafts Movement ·····Toru Yabu····· | 42 |
| The Work of Jessie M. King in "The Studio" ·····Hiromi Mizushima····· | 52 |
| A Study of William Morris' Utopia : Love, The Wanderer ···Kimie Saito····· | 62 |
| An Exhibition on Prints—God's Food of Ancient Style in Nara— ·····Hakudo Inoue····· | 73 |
| Cognition through Metaphor ·····Junko Kanezawa····· | 85 |
| A Survey of Social Consciousness of the Designer's Community ·····Choku Nishio····· | 92 |
| Psychedelic Design on LP Covers ·····Tadashi Ikeda····· | 102 |
| A Study on Intention and Craft of "NOREN" ·····Nobuhiko Kitabata····· | 112 |
| Creating Application Software of Interactive Media ·····Akihito Ota····· | 127 |
| Photographic Education ·····Hitoshi Tanaka, Yasuhiro Minamimura····· | 138 |
| The Emotional Music Therapy for Cerebral Palsy ·····Ryo Noda····· | 146 |
| A Concept for Educational Computing in the Art Planning Department ·····Hidechika Serizawa····· | 162 |
| A Study of Education in Architectural Basic Design —Through an Experimental Class at a Seminar of Architectural Planning & Design and Design Simulation— ·····Fumihiko Higuchi····· | 170 |
| The Education of Design and Computers —from the viewpoint of textile design— ·····Yukio Umeda····· | 184 |
| On the Process of the Development of Soft Baseball in the Taisyo and Showa Periods ·····Ryotaro Tanaka····· | 197 |
| Deux esprits floraux, pour saxophone soprano et piano (1er mouvement) —Music Score— ·····Jiro Senshu····· | 205 |
| Maeterlinck—Gesänge op. 13 von A. Zemlinsky ·····Toshiya Kihara····· | 210 |
| On the Factors which Affect the Descent in Frequency for Syllabic Nasals in Singing ·····Mamoru Watanabe, Masashi Yamada, Ichiro Nakayama····· | 223 |
| Das Gagaku-buch <i>Gakkaroku</i> (1690) und der geläufige Stil der Gagaku —im Fall v. Hichiriki— ·····Nobuo Hirose, Usaburo Mabuchi····· | 229 |
| A Guinea-pig (Marmotte) II—A Report of Student Evaluation '93— ·····Motohiro Torii····· | 241 |
| The Rebirth of "The Rikisha Man" (1) ·····Yoneo Ota····· | 248 |
| A la recherche des endroits liés à Balzac (1) ·····Tamiya Kuno····· | 261 |
| Ohio, The United States of America, The Flowers Exposition of Columbus City, A Records of Collaboration in the Exhibitions of Japanese Gardens ·····Moriyasu Otsuka, Kanya Tsuboi····· | 274 |
| The Outlines of Hummel's Piano Method —Mainly on the Ornamentation ·····Haruka Maekawa····· | 281 |
| Spelling Spells ·····Eri Matuzawa-Simamoto····· | 289 |

Cover : Komorebi— I H29 · W23(cm) Granite Red. 1991

Back Cover : Cloud & Rain H20 · W50(cm) Granite Red. 1984/○△□ H50 · W20(cm) Granite Purple.
1990/Onigiriyama— I H27 · W40(cm) Granite Red. 1991/○△□ H1,100 · W35(cm) Granite
Black. 1991/Komorebi—III H55 · W35(cm) Granite Black. 1991

Sculpture & Photographs : Noboru Tanaka/Cover Layout : Akihiko Tamura

《編集後記》

『藝術』第17号ができあがりました。

論文・作品発表に加えて、研究活動の報告を含む28篇の大部のものになりました。

学科の多様性に応じて、各専門分野の研究者のさまざまな、ユニークな研鑽の成果が揃いました。とりあげられた課題の内容の多岐に、また発表のフォームの多彩にもその多様性が発揮されています。それらは唯一つ「藝術」という共通の核を中心にして、求心的にあるいは遠心的に、常にあらたに形成される結晶体の諸面だともいえます。今日の芸術の状況や機能や任務、芸術観や芸術学の現在位置を示し、その振幅を表現しています。貴重な過去との結びつきと、未だ形も意味も不確定ながらもその呼び声を拒み得ぬ未来との間、正に芸術をめぐる現在の刻々の胎動をつぶさに感じていただきたいものです。

『藝術』を契機に、学内外の御意見や情報の交換・討議が一層活発になればと念じています。

編集については今後さらに反省と検討を重ねてゆかねばなりません。皆様からの厳しい御批判御教示をお願いいたします。

表紙には、美術学科田中昇教授より石彫の作品の数々をいただきました。

執筆者はじめ編集・発刊のために御理解と御盡力いただきました各方面の諸氏に心から感謝いたします。

(山崎琴子)

〈筆者及表紙作成者紹介〉

- 池田 靖 大阪芸術大学教授
(コンピュータグラフィックス)
- 井上 博道 大阪芸術大学教授 (写真)
- 梅田 幸男 大阪芸術大学助教授
(テキスタイルデザイン)
- 太田 明仁 大阪芸術大学講師 (デザイン)
- 太田 米男 大阪芸術大学助教授 (映画)
- 大塚 守康 大阪芸術大学非常勤講師
(ランドスケープ)
- 兼沢 純子 大阪芸術大学講師 (英語学)
- 北端 信彦 大阪芸術大学助教授
(グラフィック・デザイン)
- 木原 俊哉 大阪芸術大学講師 (音楽学)
- 九野 民也 大阪芸術大学教授 (フランス文学)
- 斎藤 公江 大阪芸術大学講師 (英文学 (詩))
- 芹澤 秀近 大阪芸術大学講師 (音楽工学)
- 千秋 次郎 大阪芸術大学助教授
(現代音楽史, 音楽理論)
- 田中 仁 大阪芸術大学非常勤講師 (写真)
- 田中 敏雄 大阪芸術大学教授 (日本美術史)
- 田中 亮太郎 大阪芸術大学講師 (体育史)
- 谷村 晃 大阪芸術大学教授 (音楽学, 音楽美学)
- 壺井 勘也 大阪芸術大学講師
(環境デザイン (モニュメント))
- 鳥居 元宏 大阪芸術大学教授 (映画演出, シナリオ)
- 中山 一郎 大阪芸術大学助教授 (音楽工学)
- 西尾 直 大阪芸術大学教授 (デザイン社会学,
グラフィック・デザイン)
- 野田 燎 大阪芸術大学助教授
(音楽療法, 作曲, 演奏, 教育, 音楽人類学)
- 樋口 文彦 大阪芸術大学助教授
(建築基礎デザイン教育, 建築 CAD 教育)
- 廣瀬 信夫 大阪芸術大学副手 (雅楽)
- 深田 尚彦 大阪芸術大学教授 (造形心理学)
- 前川 陽郁 大阪芸術大学講師 (音楽学)
- 馬淵 卯三郎 大阪芸術大学教授 (雅楽)
- 松沢 絵里 大阪芸術大学講師 (英語音韻論, 音韻史)
- 水島 ヒロミ 大阪芸術大学講師 (西洋美術史)
- 南村 康弘 大阪芸術大学教授 (写真)
- 藪 亨 大阪芸術大学教授 (デザイン史)
- 山田 真司 大阪芸術大学助手
(音楽心理学, 音楽音響学)
- 渡辺 守 大阪芸術大学副手
(音楽心理学, 音楽音響学)

石彫をはじめ約20年になります。気がついてみると、雨や雲や風など自然現象からの発想や、おにぎりやまとか木々など、子供の頃に描いたフォルムからの発想が多いようです。これからも、石に具体的な姿を刻みながら、そこに抽象的な簡潔性を求めてゆきたいと思います。

田中 昇
大阪芸術大学教授 (彫刻)



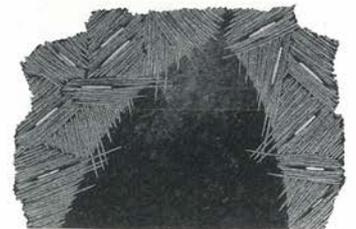
木洩日-I 29×23(cm) 花崗岩 赤



雲と雨 20×50(cm) 花崗岩 赤



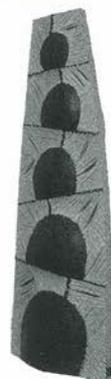
O△□ 50×20(cm) 花崗岩 紫



おにぎり山-I 27×40(cm) 花崗岩 赤



木洩日-III 55×35(cm) 花崗岩 黒



O△□ 1,100×35(cm) 花崗岩 黒

大阪芸術大学 紀要〈藝術〉17

平成6年11月20日発行

発行／大阪芸術大学

大阪府南河内郡河南町 TEL 0721-93-3781

編集／大阪芸術大学紀要編集委員会

印刷／日本写真印刷株式会社